

第4次子どもかがやきプラン アクションプラン 2024

事務局報告(政策)(1)

1

地域と共に創る 新たな学びのスタイル

- ◆令和6年3月に策定した「第4次子どもかがやきプラン」に基づき、令和6年度に取り組む施策を示しました。
- ◆インクルーシブ教育システムの構築に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じて、地域の多様な学びの場を柔軟に活用できる新たな「学びのスタイル」づくりに取り組みます。
- ◆そのための基盤となる、新たな「学びの場」の整備に取り組みます。



施策1 多様なニーズに応じた学びを支える学習環境の整備

施策内容

- 特別支援学校設置基準を踏まえて学習環境を整備します。
 - ・岐阜本巣特別支援学校：南館棟の未改修部分を活用した改修について、実施設計を進めます。
 - ・飛騨特別支援学校及び高山日赤分校：基本計画を基に、引き続き設置基準を満たすための整備方法の検討を進めます。
 - ・郡上特別支援学校：1校舎体制への整備に向け、関係機関等と連携し、整備方法等の検討を進めます。
 - ・大垣特別支援学校及び東濃特別支援学校：設置基準を満たすための整備方法を引き続き検討します。
 - ・揖斐特別支援学校：今後の児童生徒数の推移を見ながら整備の必要性について検討します。
- 各地域の状況に応じて、高等特別支援学校機能を整備します。
 - ・東濃地域、飛騨地域における、学校規模、整備内容について引き続き検討します。
- 特別支援学校児童生徒の通学支援を充実します。
 - ・県立特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒の通学支援について、他県の状況等について調査研究をします。
 - ・スクールバス利用希望者増加による座席数の確保及び運行ルートの変更に対応するため、スクールバスを増配備します。 令和6年度：7台増配備 計70台運行



施策2 多様なニーズに応える学びの場の充実

施策内容

- 高等学校における通級による指導を充実します。
 - ・岐阜、美濃地域に続き、可茂地域において、通級担当教員が県立高等学校へ出向いて指導を行う「通級による指導（巡回型）」を開始します。
【可茂地域】拠点校：関高校 巡回地域：可茂地域の県立高等学校
 - ・西濃地域、東濃地域において、「通級による指導（巡回型）」の準備を行います。
【西濃地域】拠点校：大垣北高校 【東濃地域】拠点校：東濃フロンティア高校（東濃西部） 恵那高校（東濃東部）
- 視覚障がい・聴覚障がいのある児童生徒の学びを充実します。
 - ・小・中学校等で学ぶ視覚障がいのある児童生徒に対する支援の充実のために、県と岐阜盲学校の教員で構成する「弱視通級調査チーム」を設置し、岐阜盲学校を拠点とする巡回型の弱視通級指導教室の設置に向けて、通級による指導が必要な児童生徒の調査や、市町村教育委員会と連携した指導体制づくりに取り組みます。
 - ・聴覚障がいのある児童生徒に対する支援の充実のために、岐阜聾学校を拠点として、全県における専門性の高い聴覚障がい支援を行うとともに、東濃地域、飛騨地域において、恵那特別支援学校、飛騨特別支援学校が早期からの一貫した指導支援を行うために、岐阜聾学校や関係機関と連携した支援体制を構築します。

○長期入院やそれに伴う自宅療養を必要とする高校生に対する支援を充実します。

- ・高等学校において、長期入院やそれに伴う自宅療養を必要とする生徒への遠隔教育による学習支援について、同時双方型における実績を踏まえて、新たにオンデマンド型の授業に用いる教材の開発、授業や評価のあり方を研究するなど、支援体制の整備に取り組みます。

○特別支援学校高等部の職業教育を充実します。

- ・県教育委員会主催の職業教育実践発表会、作業製品の合同販売会など、学びの成果を発表する場や職業教育の取組について広く周知する場を設定し、職業教育の充実を図ります。
- ・肢体不自由及び病弱の特別支援学校高等部生徒の「在宅就労」の実現に向けて、過去3年間の取組を踏まえ、基本的なPCソフトの使い方、WEB会議システムを使用したコミュニケーション方法等について、参加生徒の学校をオンラインで接続して一緒に事前学習するなど、在宅就労のために必要な力を身に付けられるよう学習内容の充実を図ります。また、本取組について県内企業への周知を進めます。
- ・関連企業等と連携して専門教科テキストの内容を見直し、音声や動画等を取り入れた電子書籍化を引き続き進めます。 令和6年度：喫茶サービス

○医療的ケアを必要とする児童生徒の学びを充実します。

- ・医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する全ての特別支援学校において、安全に校外学習等に参加できるよう、同行する看護師を配置します。また、泊を伴った活動への看護師の付添いについても、他県の状況等について調査研究をします。
- ・小・中学校等における医療的ケア実施体制を支援するため、市町村に対して、マニュアルや実践事例の情報提供、特別支援学校に勤務する看護師や担当教員による相談支援、訪問支援等を実施します。

施策3 学びの場を支える教員の専門性向上



施策内容

○研修の充実を図り、教員の専門性を高めます。

- ・小・中・高等学校等において、より多くの教員の発達障がい支援に関する理解を推進するため、オンデマンド型の研修を行います。
- ・特別支援学級や言語障がいを対象とした通級指導教室における支援の充実のため、キャリアの浅い担当者向けの研修を行います。

○コア・スクールを活用し、教員の専門性を高めます。

- ・県総合教育センターにおける特別支援教育選択研修において、コア・ティーチャーを活用した講座を拡充します。
- ・コア・スクール5校における研修報告会に、各特別支援学校がオンラインで参加できるようにしたり、コア・ティーチャーによる専門的な指導をオンラインで受けられるような環境を整えたりするなど、コア・スクールで培われた専門性を各特別支援学校に効果的に還元する仕組みを構築します。

※コア・スクール 岐阜盲学校（視覚障がい）、岐阜聾学校（聴覚障がい）、長良特別支援学校（病弱）、岐阜希望が丘特別支援学校（肢体不自由）、岐阜清流高等特別支援学校（軽度知的障がい）の5校

岐阜県教育委員会

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

TEL 058-272-1111（代表） FAX 058-278-2823